

平成30年度 第72回 全国茶品評会へ向けて

4月26日(木)から5月4日(金)にかけて、今年度の全国茶品評会出品茶の摘採と製造が実施されました。

それぞれの茶園で丹精込めて育てられた出品茶は、ボランテアや関係者などの「お茶摘みさん」の手により、「一芯二葉」で丁寧に摘み取られました。

今年は天候が非常に良好だったことから茶葉の生育が早く、例年よりも早い時期での摘み取りとなりました。

ある出品者は「茶葉の品質は良く申し分ない、あとは製造次第」と語っていました。

摘採された茶葉は町農林業センターや出品者の茶工場へと搬入され、次の工程へと移っていきました。

●全国茶品評会とは

全国より出品されたものの中から、その年の優秀な茶を選定し、農林水産大臣賞や産地賞といった賞が与えられるもので、お茶のブランドに直結する品評会となります。

本年度参加茶農家	
普通煎茶 4kg の部	相藤農園 相藤直紀
	相藤園 相藤令治
	川崎好和
普通煎茶 10kg の部	つちや農園 土屋鉄郎
	丹野園 丹野浩之

敬称略

今年度も無事に摘採と製造が終了しました。



今年の全国茶品評会(第72回)は8月末に静岡で開催されます。



平成30年度川根地域新茶初取引開所式

4月21日(土)の朝7時30分より、JAおおいがわ中川根支店において、平成30年度の新茶初取引が行われました。

昨年度より一週間早い初取引となり、茶商・茶農家・JAおおいがわから約150人が集まりました。

今年は9口114.7kgの上場があり、去年の4口44kgから倍以上の持ち込みとなりました。

当日の最高値は下長尾の高木郷美さんのお茶で、1kgあたり3万5千円で落札されました。

初取引の平均単価は1万3千282円となりました。



〇見た目「香り」「味」等を慎重に見極めていきます。



▲茶商・農家・JAおおいがわ・茶業組合による価格交渉の後、伝統の掛け声にあわせた手合わせによって取引が成立します。